

(4) 製造業の生産額

製造業の生産額のうち、構成比の大きい業種は化学製品で 14.6%を占め、次いで金属製品 13.6%、電気機械 13.0%、その他の製造工業製品 11.7%の順となっている。

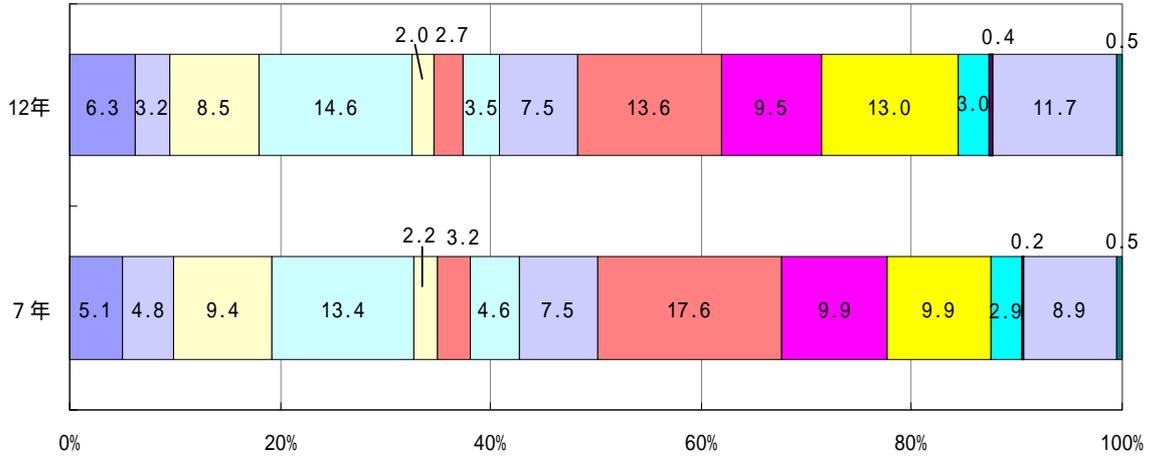
製造業の生産額を 15 部門で見ると、化学製品が最も大きく、次いで金属製品、電気機械の順となっている。ただし平成 7 年との比較では、金属製品は大きくウエイトを落とし、電気機械、その他の製造工業製品などでウエイトが高くなっている。

さらに細かく 55 部門で生産額をみると、生産額では建設・建築用金属製品が最も大きく、次いで医薬品、非鉄金属加工製品、半導体素子・集積回路の順となっている。

また、特化係数が高い部門は建設・建築用金属製品、化学肥料、非鉄金属精錬・精製、医薬品の順となっている。

生産額が大きく、特化係数も大きい建設・建築用金属製品、医薬品、非鉄金属加工製品、半導体素子・集積回路が平成 12 年の富山県製造業を特徴づける産業といえる。

図1 製造業中分類別生産額構成比



- 食料品
- 繊維製品
- パルプ・紙・木製品
- 化学製品
- 石油・石炭製品
- 窯業・土石製品
- 鉄鋼
- 非鉄金属
- 金属製品
- 一般機械
- 電気機械
- 送達機械
- 精密機械
- その他の製造工業製品
- 事務用品

図2 製造業の産業別生産額・特化係数

